

2023年8月25日発行

地域生活サポートセンターぴぼっと南光台

VOL.0034

第34号 ぴぼっと

南光台通信



発行： 社会福祉法人つどいの家地域生活サポートセンター「ぴぼっと南光台」
責任者： 三浦 郁美（管理者）
住所： 981-8003 仙台市泉区南光台 3 丁目 1-24
連絡先： TEL 022-779-7341 FAX 022-779-7342





管理者コラム



今年も厳しい暑さですが、皆さん夏バテしていませんか？

当事業所では毎月、登録ヘルパーを対象とした「ヘルパー連絡会」を行っています。内容は直接の支援に関することから制度や災害対策など、福祉に限定せずさまざまなテーマを設定しています。先日、その中で世界幸福度ランキングの話をししました。

世界幸福度ランキングとは、毎年3月に国連の関係機関から発表される順位で、2023年版の日本の結果は137カ国中47位でした。半分より上の順位ではありますが、先進7カ国の中では最下位です。ちなみに2022年は54位でした。

順位を決める基準には「1人当たりの国内総生産（GDP）」、「社会的支援の充実（社会保障制度など）」、「健康寿命」、「人生の選択における自由度」、「他者への寛容さ（寄付活動など）」、「国への信頼度」の6つの項目があります。その中で日本は「他者への寛容さ（寄付活動など）」、「国への信頼度」が低いという結果になっています。

考え方や立場の異なる人に対して、いかに理解を示すことが自然にできるかが「寛容さ」につながりますし、人の温かさを感じ、心を豊かにするポイントになります。これは私たちが日々、関わっているであろういのある方の生活にとっても重要なことです。

ランキングの上位は北欧が多くを占め、フィンランドにおいては6年連続1位です。北欧の美しい景色と自然の豊かさ、ゆったりとしたライフスタイル、犯罪率の低さ、教育システムの充実などが高評価の理由となっているようですが、何よりほとんどが福祉先進国です。福祉の充実が人の幸せになることが順位に明確に表れています。これからの日本はより深刻な少子高齢化の時代に入っていきます。北欧に習い、必要な人に必要な支援や保障が届く、福祉先進国としての成長を遂げていって欲しいと思います。

（管理者 三浦郁美）



非常勤職員研修報告

今回の非常勤職員研修は、「医療的ケアが必要な方々を支える存在を理解する」というテーマで開催されました。講話を聴いたり、グループワークや動画鑑賞をして、参加者で理解を深めました。参加した職員の感想を紹介します。



私は、つどいの家で仕事をするようになり21年が過ぎました。仙台市でも平成14年春から障害者ヘルパーが始まりました。偶然にも、その時から仕事をしています。

ヘルパーとして、当時から移動支援中心の仕事をしており、今回の研修は重症心身障害者、医療的ケアが必要な方々の内容で、私はこのような方々とは少しかかわった程度でした。講演の先生が、支援者の役割の事や、実際に職員が利用者の家でどのように対応しているかなどのお話を聞き、素晴らしいと思いました。

私は21年前から、病院や養護学校などに出向き、仕事の合間に見学に行ったり何かできないかと手伝いに行ったりしていました。現在はコロナ等々で見学できるのかはわかりませんが、生徒さんや他の方々の素敵な笑顔が見られたらと思っています。

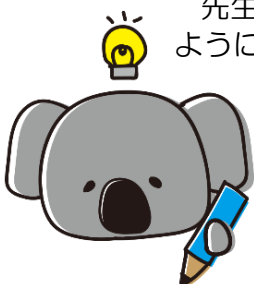
（ぺんたす 須田太郎）

先生の講習から始まり、フリップを見ながら分かりやすい説明を聞き、一つひとつ納得できたように思いました。また、説明の中で気づかされた所も多々ありました。次にヘルプの状況を動画で見た際に、献身的に利用者さんに向き合っている姿を見て、一種の感動を受けました。

研修を受けた方々との意見交換も参考になりました。

今後、この研修を受けたことを実際に現場で生かしていけたらと思っています。最後に今回の企画を立てていただいた方々に感謝しています。またの企画を楽しみにしています。

（すてっぴ・はうす 永山健彦）



総合訓練報告



7月24日(月)ぴぼっと南光台総合防災訓練を行いました。前半は消火器の使い方を動画で学び、後半は有事の際を想定して、ぴぼっと南光台から避難場所まで実際に歩いて避難経路の確認を行いました。

今回初の試みであった避難経路確認は、避難所に向かう際に危険物はないか、壁やブロック塀が地震によって倒れる危険性はないか等、一つ一つ確認しながら避難場所を目指すという内容で行いました。車いすの利用者さんが安全に避難できるかどうかも確かめました。

当日は気温も高く、日差しも強い中、避難場所である南光台小学校まで歩きましたが、皆汗だくになりながら「このブロック塀は倒れてきそうだね」「このカーブミラーは手で少し力を入れるとすごく揺れるね」「この道はアスファルトが割れていて歩きにくいし、車いすの方は通りにくい



ね」「冬場の坂道は怖いかも！」等話しながら、南光台小学校までの道のりをくまなく見て回りました。

今回避難場所まで歩いてみると、普段車で通っている時にはわからない多くの発見や気づきがありました。大災害はいつ起こるか分かりません。訓練を行った日のようなカンカン照りの日かもしれませんし、雪が降り積もっている日かもしれません。薄暗い夕方や夜間かもしれません。様々な状況を想定しながら利用者さん、職員の安全確保に努め、適切な避難が出来るよう防災意識を高めていきたいと思えます。
(すてっぷ・はうす 高橋和也)

ちょこっとコラム～支援について考える～

「その人について知る」

皆さんはしょうがいのある方と関わる時にどのようなことを意識しますか？どのように声を掛ければいいのかわからない。急な動きがあるのでびっくりする。いろいろ感じるところがあると思います。

私は、まずその方が何を好きなのかを知るところから始めます。音楽が好きな方なら一緒に好きな歌を歌ったり、楽器を鳴らしてみたり。お話が好きな方なら、お話しした言葉をマネしてみたり。運動が好きな方なら一緒に体を動かしたりなど。その方が好きなことを一緒に行ない、関わりをもっていくうちにその方との関わり方を知ることができるのではないのかと私は感じています。

最初はどのように声がけをすればよいのかもわからなかった私ですが、一緒に活動を行う中で「移動の声がけをする時は、行き先を手で示していた方が本人にとってわかりやすいな」、「選ぶときは写真を見せた方が選びやすいな」など3年ほど同じグループで過ごした利用者さんから学びました。事業所が変わった今でも、お会いすると笑顔を見せてくれます。

楽器と一緒に演奏できること、頭をトントンと叩いたり感覚遊びが好きなこと、食べるのが好きなこと。さまざまなことを知る事ができました。

しょうがいのある方と関わることは難しいと思わずに、まずは好きなことを一緒にやってみることから始めてみませんか？
(すてっぷ・はうす 渡部)

「ガイドヘルパー」活動スタート！



今年の6月につどいの家ガイドヘルパー養成講座を修了した学生6名が、ガイドヘルパーとして「ぺんたす」職員の仲間入りをし、移動支援サービスに同行しました。今回はそんなフレッシュな3名にお話を聞いてみました！

いしばしほのか 石橋穂香

大学では特別支援教育を専攻していますが、しょうがいのある方々と関わる機会はほとんどないので、とても貴重な経験ができていると感じています。はじめはとても緊張していましたが、想像以上に楽しく取り組んでいます。利用者さんの「やっぱりヘルパー楽しい〜！」という言葉聞いて、ガイドヘルパーの存在の意味を実感しました。少しでも先輩ヘルパーさんに近づき、利用者さんが素敵な余暇を過ごせるようなサポートをできるように、これから頑張っていきます。



くによしまさき 國吉将樹



8月5日に初めてガイドヘルパーとしてお出かけをしました。初めての経験のため、緊張がありましたが、利用者さんはすぐに私を受け入れてくれたので一緒に楽しい時間を過ごせたと感じています。特に、利用者さんは食事をおいしそうに食べるので、私もいつも以上に食事を楽しめることができました。最後には、感謝の気持ちを伝えていただいたので、ガイドヘルパーとして携わることができて良かったと思いました。

また、実際にガイドヘルパーとして同行する中で、自分が楽しまなければ利用者さんも楽しめないのではないかと実感することができました。先輩ヘルパーの方は楽しいと感じていることを利用者さんに伝えることが上手だったので、自分も早くそのように関わられるようになりたいと思います。

たけうちあおい 竹内碧生

今回、初めて、移動支援に同行させていただきました。

初めての経験で、当日を迎えるまではとても不安でしたが、利用者さんや先輩のヘルパーさんがとても気さくに話しかけてくださり、リラックスした雰囲気を取り組むことができました。講座で習ったことを活用する場面も多々あり、車椅子の操作やトイレ介助などに自信を持って取り組むことができました。丁寧に介助の方法や利用のポイントを教えてくださったおかげで、緊張しながらも、教わったことを存分に発揮することができました。

また、この同行で改めて気づかされたことがあります。それは、コミュニケーションの大切さです。どのような場面でも、利用者さんとのコミュニケーションをしっかりと行い、利用者さんのご希望を叶えるお手伝いをするのが大切だということがわかりました。これからも、コミュニケーションを大切にしながら、利用者さんと良い関係を築けるように頑張りたいです。



※ガイドヘルパー育成にご支援、ご協力をいただきましてありがとうございます。
今後とも、よろしく願いいたします。

すてっぴ・はうす 新介護人紹介

高橋奈々恵 (たかはしななえ)

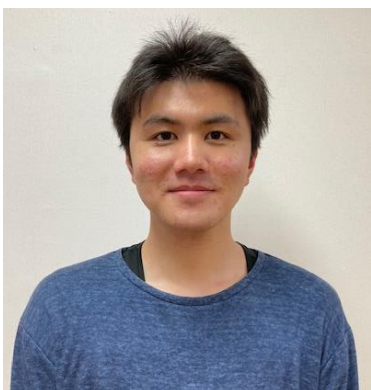


- ① 今年で 24 歳になります
- ② 秋田県
- ③ バッティングセンターに行くこと
- ④ マクドナルド
- ⑤ 当法人で介護職員初任者研修の資格を取得したからです。

- ① 年齢
- ② 出身
- ③ 趣味
- ④ 好きな食べ物
- ⑤ この仕事を始めたきっかけ
- ⑥ 実際にお仕事をしてみて

⑥ 福祉のお仕事に携わるのも初めてで右も左もわからず、大変だと思う時もありますが、利用者さんの笑顔のおかげでとても楽しいです。これからたくさん勉強や経験を積んで、1秒でも多く利用者さんに快適に過ごしていただけるよう努めていきたいと思っております。至らない点も多々あると思っておりますが、よろしくお願いいたします！

木村圭志 (きむらけいし)



- ① 21 歳
- ② 東松島
- ③ 映画鑑賞
- ④ 牛丼
- ⑤ 家計を支えるため



⑥ 利用者さんの介護は大変なところもありますが時折見せてくれる笑顔に癒されると同時にやりがいを感じています、また職員も温かく優しいのでとても働きやすい環境だと思います。

職員随想 第 16 弾

すてっぴ・はうす よしだたいの 吉田泰延

これから、本格的な暑い夏となりますが、熱中症とともにイヤなのは忍者のように忍び寄る蚊、耳元でブ〜〜〜ンと聞こえてくるあの音。一緒に暮らしているワンちゃんは病気の為ワクチンが打てないので夏場は大変です。でもおかげで私の家はここ数年蚊とは遭遇していないので安心してます。

皆さんの中には毎年夏になると電子蚊マットなどいろいろと頭を悩ませている方も多いのではないのでしょうか。蚊の好む血液は O 型、次に AB 型といいますね。ちなみに私は蚊に好まれる O 型です。体型がふくよかな方、汗かきの方が刺されやすいとのこと。対策として、汗をかいたらすぐにふき取る、蚊は暗いものを好むので洋服は明るい色の物を取り入れ、暗い色の洋服は避けるなどいろいろあるようです。家の周りに水溜まりがあれば掃除して水溜まりをなくすなども効果的なようです。蚊は水に卵を産み、数日でふ化するようです、コロナも関係して夏は蚊に大切な血を吸われないように、、、



熱中症とともにお気をつけて快適な夏をお過ごしください。

南光川浄化作業

6/11地域の皆さまと一緒に「南光川」を清掃しました。
皆さま、朝早くからおつかれさまでした。



地域ウォーキング清掃

6/26今年度も、「ぴぽっと南光台」と胸にかかれた黒いTシャツを身に着け、バス通り・南光台3丁目公園・公園前の3チームに分かれ、短い時間ではありましたが地域をちょこっと清掃しました！



空き缶見つけた♪

お知らせ

介護スタッフ募集（すてっぴ・はうす） しょうがい者向けヘルパー募集（ぺんたす）

見学、お話しだけでも！！

お気軽にご連絡ください。《すてっぴ・はうす 高橋 横山》 《ぺんたす 今野 川口》



法人採用サイト

会議、勉強会、サークル活動などに、サロン室をご利用いただけます。

時間：平日の10時～12時 または 13時～15時の間

1日を通してのご利用も可能です。

（他の時間帯についてはご相談ください）

料金：半日500円 1日1,000円

お電話でご予約ください。

※コロナ感染症対策の為、定員は10名とさせていただきます。



電話受付は平日 10時～18時

☎022-779-7341

ありがとうございます



6月いっぱい、すてっぴ・はうす職員の永沼佳子が退職となりました。
大変お世話になりました！

編集後記

コロナが5類になり、お祭りなどの楽しいイベントが復活しつつありますね！私は大学生時代よさこいを踊っていたのですが、最近友人から誘われ社会人よさこいチームの体験に行きました。所属するかはまだ決めていませんが、体を動かすことと新しいコミュニティに入ることは楽しいなあと思いました！
（すてっぴ・はうす：横山）